



株式会社 西島製作所

TORISHIMA PURPOSE BOOK

いま 社会は、世界は どうなってるの？



世界はいま、 さまざまな課題に直面しています。

気候変動、人口問題、エネルギー危機、感染症、貧困、紛争……。
私たちはいま、一国だけでは解決できない大きな課題をいくつも抱えています。
とくにCO₂の増加によって引き起こされている環境問題では、
異常気象や地球温暖化、生態系の変化、水資源の枯渇など、
人々の暮らしにさまざまな影響を及ぼしています。
また、誰も想像しなかったパンデミックで世界が一変したように、
いまはまだ見えていない問題がこれからも出てくるでしょう。

そのなかで、
トリシマは何のために
存在するの？



Purpose

トリシマのパーパス(存在意義)

ポンプの力で、
暮らしと命と未来をつなぎ、
サステナブルな社会を実現する。

世界で起こっているさまざまな課題を解決しながら、
人々の暮らしを持続的に豊かにしていく。
そのために西島製作所は存在しています。



不思議じゃ
トリシマは何者じゃ

なぜ、
トリシマじゃなきゃ
いけないの？

それは、100年前の創業からずっと
社会の心臓である「ポンプ」を通して
社会を支えているという
自負があるからです。

もちろん、トリシマだけでできることは限られています。
でも、いまの社会課題の解決はもとより、
その先にもっと貢献できることが
トリシマにはあるはずです。

いま、トリシマは 何に貢献しているの？

これがなきゃ
生きていけないよね

例えば、水・食料不足の解決。

雨が降らず水不足に悩む国がいくつもあります。
水不足になると、作物が育たず食料も不足してしまいます。
海水を真水に変えることができれば？
水不足を解決できます。
食べ物も作れるようになるでしょう。
そして、たくさんの命が救われるでしょう。

トリシマは、海水淡水化用ポンプのエキスパート。
淡水の製造、供給に大きくかかわっています。
さらに農地へ水を送り、排水するポンプも
国内外で数多く稼働。
農作物づくりに貢献しています。

例えば、水害への対策、防災・減災。

水不足で悩む地域がある一方、水害で苦しむ地域もあります。
異常気象で大雨が頻発し、多くの被害が出ています。
排水ポンプが稼働したら？
被害は少なくなり、人々は安心して暮らすことができます。

水害が起こると
命の危険に
さらされることもあるよ



トリシマの大型ポンプが力を発揮。
またたく間に大量の水を排水し、
街や農地が浸水しないように守ります。
さらに近年では、
独自技術を駆使した水害に強いポンプを開発。
防災・減災に大きく貢献しています。

最近暑いね…
温暖化を抑えるための
方法はないのかな？

例えばCO₂増加への対策。

世界ではたくさんのポンプが稼働しています。
日本では使われているすべての電気の3割をポンプが消費。
その分、CO₂の排出量も多いのです。
省エネポンプを使えば、CO₂の増加も大きく抑えることができます。

トリシマは、創業当時からつねに
効率の高いポンプづくりにこだわってきました。
いまでも、世界最高レベルの効率を誇る
省エネポンプの開発にチャレンジしています。
そして、この省エネポンプを普及していくための
「ポンプdeエコ」活動にも力を注いでいます。

例えば、 CO₂を出さないエネルギーへの転換。

化石燃料を使った発電には逆風が吹いています。
それはCO₂をたくさん排出してしまうから。
風力や太陽光などの地球に優しいエネルギーはあるけれど、
これだけですべての電気は賄えません。
そのため、世界では地球のことを真剣に考えて、
水素やアンモニアを燃料としたCO₂を出さない
発電の開発、転換が進められています。

トリシマは、発電用ポンプで長年培った技術を活かし
次世代燃料を扱う今までにないポンプを開発することで、
カーボンニュートラル社会の実現に向けて貢献しています。

未来のための
クリーンなエネルギーって？

例えば、スマートメンテナンス。

日本の人口は、2010年を境に減少が続き、
人手不足、高齢化、技術継承などの課題が深刻になっています。
その解決策のひとつが、
DXを活用したスマートメンテナンス。
機械設備の運転状態を監視し、データ化することで、
保守管理における効率化・省力化、ノウハウの継承などを
実現することができます。

機械設備の管理を
もっとラクに
できないかなあ...



トリシマは、IoTやAIを活用して
機械の振動データを収集・分析し、
故障を未然に防ぐシステムを提供。
保守管理の負担を軽減するなど、
さまざまな課題解決に貢献しています。

これから、
トリシマは
どう社会貢献
していくの？



未来はどうなる？
世界はどう変わる？

技術を進化させることで もっと世界をよくしていく。

技術の進歩はめざましい。
車が自動運転できるようになり、アプリひとつで言葉の壁がなくなり、
ロボットが家事をしてくれるようになってきました。
すべては、私たち人間の「できたらいいな！」が原動力。
宇宙に居住空間をつくる計画も進められています。
深海に都市をつくることも可能かもしれません。
30年後、50年後にはきっと、いまは想像もつかない未来が広がっているでしょう。

そのとき、トリシマは何ができるのでしょうか？
無重力空間で水を運ぶポンプ？
これまでにない素材を使った無敵ポンプ？
いいえ、もはやポンプではないかもしれません。

トリシマは、技術で勝負をしてきた会社です。
これからも必ず技術を進化させ、社会に貢献していきます。

人財を大切にすることで もっと世界をよくしていく。

いまある課題を解決し、未来の夢を叶えるのは「人」。
思考を深め、善悪を判断し、
感動したり、させたりする大切な部分は、
どんなにAIが発達しても、やっぱり「人」なのです。
国籍、年齢、性別、価値観、
まったく違う人が集まって「できたらいいな！」を語り合い、
知恵を寄せ合い、ワクワクしながら挑戦することで、
初めてイノベーションは生まれます。

トリシマは、これまで以上に「人財」を
大切に考えていきます。
自分たちがハッピーでなければ、
世界をハッピーになんてできませんから。

トリシマの経営理念

私たちはポンプを愛し、
世界によりよい変化を生み出すために、
進化し続けます。

地球で暮らす、すべての人が ハッピーになれる未来へ

